KOKUJUN Press

国立循環器病研究センター
National Cerebral and Cardiovascular Center

51
2023

特別企画 CLOSE UP INTERVIEW

新任部長・特任部長紹介

集中治療部 ⁘ 手術部 ⁘ 救急部 ⁘ 脳血管内科

Hot topics

「国循クラウドファンディング」挑戦中！
「オンライン・セカンドオピニオン外来」のご案内

お知らせ

特殊外来紹介
～成人先天性心疾患外来・プレコンセプションカウンセリング（妊娠に関する相談）外来・
カテーテル治療外来・腎代替療法選択外来～

KOKUJUN Press 51号 特別企画

Close up Interview

新任部長・特任部長紹介

循環器病医療は、先進性とチーム医療による新たな昇華のフェーズへ。
そんな中、この春新たに着任した部長をはじめとする4名の部長・特任部長をご紹介いたします。

集中治療部　患者さんの命を守る集中医療医として、全ての患者さんに対して一人ひとり親身に寄り添って行きます

集中治療部長　竹内 宗之　MUNEYUKI TAKEUCHI

2023年4月1日付けで集中治療部長に着任いたしました竹内宗之と申します。私は、1996年度から2006年度まで、当センター外科系集中治療部で、またその後2007年度から昨年度まで、大阪母子医療センター集中治療科にて、重症患者さんの集中治療に従事して参りました。その経験を生かして、当センターでも患者さんやそのご家族に貢献させていただく所存です。

ところで、集中治療医が何をする医師かご存知でしょうか？**集中治療医は、急性の重篤疾患に罹患した患者さんを注意深く観察し、その回復をサポートする役割を担っています。**当センターにおいてわれわれは、成人心臓・血管外科および、小児心臓外科の、主に術後管理を担当しています。手術や急性発症した疾患により、一時的に全身の臓器機能が低下した患者さんに対し、適切な人工呼吸や循環サポートなどを行い、患者さんの命を守っています。その上で、**少しでも早く後遺症なく、通常の生活に戻れるような医療を行うことが重要です。**そのために、外科医や看護師、臨床工学技士らと協働し、感染対策、栄養管理、リハビリ、医療安全など、総合的に、患者さんに最もよい医療を提供できるよう、医療チームをコーディネートしています。中には残念ながら、回復できない患者さんもおられます。その人たちが家族とともに人生の最期の時間を有意義に過ごせるようにすることも、われわれの重要な役割です。

集中治療室に入ってくる患者さんやそのご家族は、たくさんの不安を抱えていらっしゃるかもしれません。皆様の不安を少しでも減らせるよう、**全ての患者さんに対して一人ひとり、親身に寄り添って行きたいと思っています。**どうぞ、よろしくお願いいたします。

Profile

1991年　大阪大学卒業
1991年　労働福祉事業団関西労災病院　麻酔科
1992年　大阪大学医学部付属病院　集中治療部
1993年　大阪府立母子保健総合医療センター 麻酔科・新生児科
1996年　国立循環器病センター　外科系集中治療科
1999年　米国マサチューセッツ総合病院呼吸療法科
2001年　国立循環器病センター　外科系集中治療科
2007年　大阪母子医療センター　集中治療科
2023年　国立循環器病研究センター　集中治療部長

〈専門領域〉
肺傷害、人工呼吸、小児集中治療
〈専門医資格〉
麻酔科専門医、集中治療専門医、呼吸療法専門医

手術部　素晴らしい仲間と共に国循麻酔科を支えて参ります

手術部長　前田 琢磨　TAKUMA MAEDA

2023年3月1日付で、国立循環器病研究センター麻酔科手術部長に着任いたしました前田琢磨と申します。我々麻酔科は日本全国から集まった25名の医師で構成されます。ありがたいことに、本当にやる気に溢れた医師が集まっており、皆大変熱心に症例に取り組みます。夜遅くまで自発的に居残り、研究や症例に取り組む姿は、もしかしたら世間一般から見ると異様に映るかもしれません。しかし、我々は本当に心から**「国循における難しい循環管理を要求される麻酔」**が好きなのであり、そこに没頭しているのです。若い医師の先生は、多くは2年程度の国循での研鑽をへて、また全国各地へ帰り、指導者として活躍してくれます。人生の限られた時期に、寝食を忘れて没頭できる時間を同じ志を持った仲間と共有できることは、必ず彼らの人生に生きると信じています。このような高い志を持った若い医師達と高度な知識を持ったスタッフ医師達が、相乗効果をもたらして**チームとしての国循麻酔科を支えてくれています。**また、手術室の看護師、臨床工学技士も本当に熱心に働いてくれます。現在、産婦人科に麻酔科医師を派遣し、無痛分娩にも対応していますし、集中治療科に竹内先生をお迎えし、さらによいチームが確立できました。国循で手術を受ける患者さんの中には、麻酔に関して不安を持たれる方もいらっしゃるかもしれません。しかし私は「麻酔中のどのようなトラブルも、このチームなら解決できる」と信じています。安心して手術室にお越しいただければと存じます。

Profile

1998年　灘高校卒業
2005年　大阪大学医学部卒業
2005年　市立吹田市民病院 初期研修医
2007年　大阪大学医学部眼科学教室
2007年　市立豊中病院麻酔科
2009年　国立循環器病研究センター麻酔科
2012年　大阪母子医療センター集中治療科
2013年　国立循環器病研究センター 輸血管理室/麻酔科
2019年　米国スクリプス研究所 ポストドクトラルフェロー
2021年　国立循環器病研究センター麻酔科
2023年　国立循環器病研究センター麻酔科手術部長

〈専門領域〉
心臓血管麻酔、血栓止血
〈専門医資格〉
東京大学医学博士
大阪大学公衆衛生学修士
日本麻酔科学会専門医・指導医
日本心臓血管麻酔学会専門医
日本集中治療専門医
日本経食道エコー専門医
米国経食道エコー専門医

救急部　24時間365日体制で臨む高度循環器救急医療

救急部特任部長　田原 良雄　YOSHIO TAHARA

2022年8月1日付けで、国立循環器病研究センター救急部の特任部長を拝命しました田原良雄と申します。

国立循環器病研究センターは日本で唯一の循環器に関するナショナルセンターであり、心臓血管系と脳血管障害の治療を行う世界でも画期的な最先端の大規模医療・研究施設です。

大阪府北摂地域におきましても高度専門医療機関として、**24時間365日体制で迅速な医療・検査治療を提供する**ことで地域医療への貢献に取り組んでいます。

近隣の医療機関の皆様におかれましては、緊急受診のお問い合わせに関しては、当院の専門医療連携室が提供している**“国立循環器病研究センター電話窓口のご案内”のホットライン**からご連絡いただきますようお願いいたします。**ホットラインは、脳卒中と心臓疾患専門の医師が直接電話を受けますので緊急時には迅速な対応が可能となります。**

循環器救急疾患（急性心筋梗塞、不安定狭心症、急性心不全、急性大動脈解離、大動脈瘤切迫破裂、急性肺血栓塞栓症、緊急不整脈、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、など）は軽い症状でも、重篤な疾患の前兆の可能性があります。時間経過とともに循環動態が破綻し死に至る場合もありますので、速やかな診断と最適な治療を患者さんに提供する必要があります。少しでも疑われる場合には遠慮なく早めにご紹介いただきますようお願いいたします。

Profile

1993年　山口大学医学部卒業
同年　横浜市立大学医学部附属病院 臨床研修医
1995年　神奈川県立足柄上病院　内科医員
1997年　国立循環器病センター 心臓血管内科レジデント
2000年　横浜船員保険病院　内科医員
2001年　横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 常勤特別職→助手→助教→講師
2012年　横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター講師
2014年　国立循環器病研究センター 心臓血管系集中治療科医長
2022年　国立循環器病研究センター 救急部特任部長

〈専門領域〉
循環器救急

〈専門医資格〉
横浜市立大学　医学博士
日本内科学会認定　総合内科専門医
日本循環器学会認定　循環器専門医
日本集中治療医学会認定　集中治療専門医
日本救急医学会認定　救急科専門医・指導医

〈その他〉
大阪府豊能地域救急メディカルコントロール協議会 委員
大阪府医師会 救急·災害医療部委員

脳血管内科　脳卒中の撲滅に向けて、3科合同による最新の治療法・治療薬の開発に邁進して参ります

脳血管内科 / 脳卒中集中治療科特任部長
井上 学　MANABU INOUE

2023年4月1日付けで、国立循環器病研究センター脳血管内科/脳卒中集中治療科特任部長に着任いたしました井上 学と申します。神戸で生まれ、旧西ドイツと東京で育ち、医学は日本とアメリカで学びました。

脳血管部門の最も大きな対象疾患は脳卒中です。脳卒中の撲滅を掲げて、あらゆる予防策・治療方法を検討しておりますが、根絶までの道のりはまだまだ険しいです。また一度脳卒中にかかると、介護が必要になる場合が多く、患者さん自身のみならず家族・親類へと影響が出る、そんな疾患であることを皆様もよくご存知かと思います。

私はアメリカで脳卒中の特に画像診断を勉強し、**RAPIDという灌流画像解析ソフトウエアを日本に導入しました。**これは、急性期再灌流療法の適応判定と予後予測ができる優れものです。そして、現在、豊田副院長と一緒に、**テネクテプラーゼという新規の脳血栓溶解薬を導入しようと健闘しております。**日本は欧米諸国に比べて治療薬や治療デバイスに関して遅れをとっている部分があります。それを少しでも解消すべく、国循が中心となり、日本で世界標準の治療を受けられるよう脳血管内科・脳神経内科・脳神経外科の3科合同で立ち向かっております。

また後遺症に苦しむ患者さんの力になるため、ボトックス外来を始めています。脳卒中後の手足の痙縮にお悩みの方はぜひ当センターの**ボトックス外来**の受診をご検討ください。

脳卒中と心臓血管疾患は表裏一体であり、心疾患（特に不整脈）を原因とする脳梗塞や、脳卒中が心疾患の契機になる**タコツボ型心筋症**を起こすこともあります。一人の患者さんに脳と心臓の両方の疾患があり、治療する優先順位を決めるのに苦慮することが多々あります。国循は、この二つの領域に特化したエキスパートたちの集まりです。センター内では**Brain-Heartチーム**が結成され、こういった問題を解決するクリエイティブで有意義な議論を進めることができ、またそれが将来の日本の治療ガイドラインに反映されることがあります。

これからもこの両疾患を制圧できるように頑張って、国と地域に貢献する病院でありたいと思います。

Profile

2002年　昭和大学医学部卒業
2004年　東京労災病院 神経内科
2006年　東京都立荏原病院 神経内科
2009年　昭和大学横浜市北部病院 内科センター 神経部門 助手
2011年　米国スタンフォード大学 脳卒中センター 客員講師
2014年　昭和大学藤が丘病院 脳神経内科 講師
2016年　国立循環器病研究センター脳血管内科に勤務
2017年　同 脳血管内科 医長
2019年　同 脳卒中集中治療科 医長併任
2022年　同 国際戦略室 室長 併任
2023年　同 脳血管内科/脳卒中集中治療科 特任部長

〈学会活動〉
日本内科学会 認定医·指導医、
日本神経学会 専門医·指導医·代議員、
日本脳卒中学会 専門医·指導医、
日本心血管脳卒中学会 評議員、事務局
日本神経治療学会 評議員
日本脳循環代謝学会 評議員
米国心臓学会/脳卒中学会フェロー（評議員）FAHA
欧州脳卒中学会フェロー（評議員）FESO
世界脳卒中機構フェロー（評議員）FWSO

Hot topics

「国循クラウドファンディング」挑戦中！

クラウドファンディングとは、インターネットを通して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募るしくみです。
今般、国立循環器病研究センターは、READYFOR株式会社と支援業務委託契約を締結しました。皆様からの格別のご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い致します。

現在実施中のプロジェクト

急性期脳梗塞に対する、新規血栓溶解薬導入への臨床試験継続へご支援を

最終目標金額2,000万円
2023年6月9日（金）23時まで

国循　脳梗塞　レディーフォー

私たちは国内14施設共同で、急性期脳梗塞の新たな血栓溶解薬開発のための臨床試験を実施しています。

現在、日本では血栓溶解薬として「アルテプラーゼ」が使われていますが、これを改変して作られた「テネクテプラーゼ」が全世界で使用され始めており、従来のアルテプラーゼよりも2.2倍の血管開通率を誇り、かつ脳梗塞発症後の3ヶ月の日常生活自立度も改善したと報告があります。

しかし、現在日本にはテネクテプラーゼを取り扱う製薬会社はまだなく、試験の実施にあたっては海外からの購入を余儀なくされていることから、物価高や輸送費の高騰が影響しています。完遂に向けて、「テネクテプラーゼ」の追加分を少なくとも10本程度購入することを目標に、今回のクラウドファンディングに挑戦します。

今回のテネクテプラーゼでは世界と同じ投与量で試験を進め、日本が世界から取り残されないように、ワールドスタンダードに沿った承認を得ることで、ドラッグラグをなくし、日本からも脳卒中の急性期治療に関して、あらゆるエビデンスが発信できればと思っています。

脳血管内科/脳卒中集中治療科特任部長　井上 学

重症心臓病とたたかう小児・若年患者さんの不安解消を目指して

日本での心臓移植後の生存率は非常に良好な水準ですが、ドナー不足により5年以上の待機が必要な患者さんは少なくありません。

心臓移植を待つ患者さんは長期の入院治療での待機を余儀なくされ、入院中は手術や痛みを伴う処置・検査を繰り返し受ける必要があります。子どもの患者さんであれば、心身に与える負担はさらに大きくなります。

私たちは、当院に入院する重症心臓病患者さんの不安を少しでも緩和し、安心して治療を受けられる環境を作るために、患者さんの心のケアを専門とする体制の整備と、生活を彩るさまざまなレクリエーションの実施を強化することにしました。

今回のクラウドファンディングでは、体制強化に不可欠なチャイルド・ライフ・スペシャリスト（CLS）や臨床心理士といったプロフェッショナルの雇用費用を募ります。

今回の挑戦を通して、重症心臓病の患者さんの、移植待機の日々に、想いを馳せていただけますと幸いです。

移植医療部部長　塚本 泰正

最終目標金額2,200万円
2023年6月9日（金）23時まで

国循　重症心不全　レディーフォー

完全予約制

オンライン・セカンドオピニオン外来

国立循環器病研究センターでは「オンライン・セカンドオピニオン外来」を開設しております。
オンライン・セカンドオピニオン外来は、当センター以外の主治医におかかりの患者さんが、ご自身の治療に際して、当センター専門医の意見を参考にしていただくことが目的です。患者さんからのお話や主治医の先生からの資料や診療情報提供書を元に、診断内容や治療法に関して当センターの専門医が意見・判断をいたします。

対象疾患

診療科	主な対象疾患
脳血管部門 **脳神経外科**	**脳血管障害の予防 脳動脈瘤、 頸動脈狭窄症の外科治療・血管内治療、 もやもや病、 脳動静脈奇形の外科治療・血管内治療、 心疾患合併脳血管障害の治療　など**
脳血管部門 **脳血管・脳神経内科**	**脳卒中急性期治療、 脳卒中発症予防・再発予防、 頸動脈・脳動脈狭窄、 無症候性脳血管障害　など**
心臓血管内科部門 **不整脈科**	**不整脈の診断とその治療全般、 心電図異常　など**

時間と費用

オンライン・セカンドオピニオン外来は自由診療のため全額自費となります。
相談時間：原則30分以内、延長は30分まで可能。
費　　用：30分：44,000円（税込）、
30分延長：22,000円（税込）加算
会計はクレジットカードでの支払となります。
※相談中の録音・録画はご遠慮いただきます。

申し込みについて

1. 現在の主治医にセカンドオピニオンを希望する旨を伝え、診療情報提供書（紹介状）及び検査データなどをご依頼ください。
2. CLINICS（クリニクス）のサイトから予約をしてください。
3. 相談日の3日前まで（土日・祝日を含まない）に必要書類を専門医療連携室までご郵送ください。

＼かるしお®認定商品／を使った
災害食アイデアレシピ

かるしお® 認定食品とは？
「減塩」で「おいしい」製品を国循が審査し、かるしお® 認定基準を満たした製品に対して、かるしお® 認定マークの表示が認められています。

「かるしおプロジェクト」ホームページ

3色すしおにぎり　材料（3人分/9個分）と作り方

栄養価（1人分/3個分）
エネルギー 356kcal
たんぱく質 8.2g
脂質 7.6g
炭水化物 66.9g
食塩相当量 1.9g

使用したかるしお認定商品
くらこん減塩塩こんぶ
食品成分表の塩こんぶと比較して **42.8%減塩**

アルファ米ってどういうもの？
アルファ米とは、炊きたてごはんのおいしさをそのままに、急速乾燥したものです。

酢飯

- アルファ米 200g（2パック）
- 水　320ml
- 粉末酢 21g（大さじ1.5）

①アルファ米に既定の水を加える。（冷たい水の場合は60分浸す）
②できあがったお米に、粉末酢を少しずつ加えながらまんべんなく混ぜ合わせる。（一気にいれると味が偏ってしまうので少しずつ混ぜ合わせるのがポイントです!）
③酢飯を3等分する

A こんぶシーチキン味

- アルファ米酢飯　全体の3分の1の量
- ツナ（油漬け・食塩無添加）30g
- くらこん減塩塩こんぶ　5g（大さじ1）
- 黒コショウ　1g（少々）

①酢飯にツナ・くらこん減塩塩こんぶ、黒コショウを加え、混ぜ合わせる
②3等分してラップで丸く包む

B ごま油香る小えび味

- アルファ米酢飯　全体の3分の1の量
- 小えび（乾燥）　6g（大さじ2）
- 白ごま　5g（少々）
- ごま油　5g（少々）

①酢飯に小エビ・白ごまを加え、混ぜ合わせる
②まんべんなく混ぜ合わさったら、ごま油を加え、さくっと混ぜ合わせる
③3等分してラップで丸く包む

C 洋風コーンパセリ味

- アルファ米酢飯　全体の3分の1の量
- コーン缶　50g（大さじ2）
- 乾燥パセリ　1g（少々）
- オリーブオイル　5g

①酢飯にコーン・パセリを加え、混ぜ合わせる
②まんべんなく混ぜ合わさったら、オリーブオイルを加え、さくっと混ぜ合わせる
③3等分してラップで丸く包む

レシピ作成・写真・デザイン・栄養価計算：社会実装推進室　竹本小百合、佐藤薫、松本洋子

特殊外来紹介

成人先天性心疾患外来

小児循環器内科、成人循環器内科、小児/成人心臓外科、産婦人科などが結集して、より良い成人先天性心疾患診療を目指しています。

■ 外来日時：毎週火曜日（午後）、毎週木曜日（午前、午後）※肺循環科初診外来

成人先天性心疾患外来

プレコンセプションカウンセリング（妊娠に関する相談）外来

私達はかかりつけ医や、原疾患の診療科と相談しながら診療計画を立て、本人、家族を交えてカウンセリングをしています。

■ 外来日時：毎週木曜日13:00～16:00　完全予約制

プレコンセプションカウンセリング外来

カテーテル治療外来

診察内容、検査結果を踏まえた上で、患者さんに適切と思われる治療法(カテーテル治療、あるいは外科手術)を提案いたします。

■ 外来日時：毎週金曜日(専門外来)

カテーテル治療外来

腎代替療法選択外来

血液透析、腹膜透析などの治療手段について、各治療の特徴や生活への影響をお伝えし、患者さんとご家族をサポートいたします。

■ 外来日時：まずは腎臓・高血圧内科の初診枠あるいは専門外来枠へご紹介下さい。

腎代替療法選択外来

患者さんの紹介方法

国循公式ホームページ「医療関係者の皆様へ」をご確認ください。
※受診の際はかかりつけ医からの紹介状が必要です。

患者さんの紹介方法

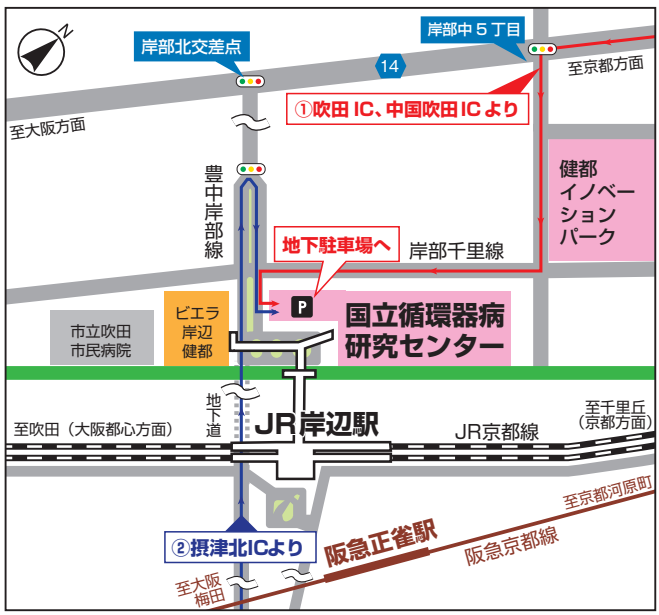
Access

■電車利用の場合

- JR 大阪駅・新大阪駅・京都駅から　JR 京都線「岸辺」駅より約 300m（連絡通路で直結）
- 阪急大阪梅田駅・京都河原町駅から　阪急京都線「正雀」駅より約 800m

■自動車利用の場合

● 名神高速道路「吹田 IC」より約 6 km ● 中国自動車道「中国吹田 IC」より約 6 km ● 近畿自動車道「摂津北 IC」より約10km



■センター住所　〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6 番 1 号

国立循環器病研究センター理念

私たちは、国民の健康と幸福のため、高度専門医療研究センターとして循環器疾患の究明と制圧に挑みます。

基本方針

1　循環器病のモデル医療や世界の先端に立つ高度先駆的医療を提供します。
2　透明性と高い倫理性に基づいた安全で質の高い医療を実現します。
3　研究所と病院が一体となって循環器病の最先端の研究を推進します。
4　循環器病医療にかかわるさまざまな専門家とリーダーを育成します。
5　全職員が誇りとやりがいを持って働ける環境づくりを実践します。

KOKUJUN Press 51
2023年

お問い合せ／国立研究開発法人　国立循環器病研究センター　〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6 番 1 号
国立循環器病研究センター　企画経営部広報企画室　https://www.ncvc.go.jp